

令和7年度第3回安曇野市地域福祉計画推進・策定委員会 会議概要

1	審議会名	令和7年度第3回安曇野市地域福祉計画推進・策定委員会
2	日 時	令和8年3月10日 午後1時30分から午後3時00分まで
3	会 場	安曇野市役所 3階 会議室301
4	出席者	尻無浜会長、青柳（和）副会長、山崎（博）委員、岡本委員、宮澤委員、平林委員、山本委員、今井委員、酒井委員、青柳（久）委員、藤原委員、上条委員、早川委員
	事務局	市社協 地域福祉課 大澤課長、丸山主幹係長、稲越主任 市 藤澤課長、丸田係長、水野主査
5	公開・非公開の別	公開
6	傍聴人 0 人	記者 0 人
7	会議概要作成年月日	令和8年3月24日
協 議 事 項 等		
1	開 会	
2	<p>会長あいさつ（尻無浜会長指名による青柳（和）副会長からあいさつ）</p> <p>本日は、第3回目の地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進状況について検討いたします。担当より説明がありますので、ご審議をお願いいたします。</p>	
3	<p>協議事項</p> <p>（1）第2回推進・策定委員会での意見・指摘に対する対応について</p> <p>資料に基づき、第2回推進・策定委員会での意見・指摘に対する対応方針を説明。</p> <p>（尻無浜会長）</p> <p>前提として、第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画では、きちんと進捗を管理していくことを策定時に組込んでスタートしました。</p> <p>進捗管理について、令和6年度の1年間経過した状況を、令和7年度から体制を整えてチェックするため、第1回委員会は14名の体制でスタートし、第2回委員会では令和6年度の進捗に関するご意見をいただきました。</p> <p>今回、このご意見に基づき、事務局が各部署に聴き取りをした内容について説明がありました。本計画は、どの様に推進されているのかという観点でご確認ください。</p> <p>（尻無浜会長）</p> <p>基本目標1について、意見・指摘の意図が反映されているかなどの視点で、ご意見をいただければと思います。</p> <p>（意見なし）</p>	

(尻無浜会長)

基本目標2について、各種事業の見える化の程度などに関するご意見をいただければと思います。

(宮澤委員)

生活支援体制整備事業について、生活支援コーディネーターを務めており、地域資源の積極的な情報収集や地域のニーズを把握することは出来ているが、地域課題の解決をどのようにして実施していくのかが出来ておりません。区長や民生児童委員とのつながりが希薄ですので、つながる仕組みを作ってください、生活支援コーディネーターが動きやすくなる一つの大きな仕組みになって欲しいと思います。この様な、地域課題の解決に向けた連携の取組みをお願いします。

(尻無浜会長)

取組みに対する更なるご指摘をいただきました。

各委員のご意見をお聞きして、活用していければと思います。

包括やケアマネージャーに関する状況や課題を把握していれば、ご意見をお聞きしたいと思います。

(山本委員)

介護保険の対象者のうち、通いの場に出て来ることが難しい方が沢山います。訪問などでお話を聞くと、「通いの場・生活支援サービスガイドブック」が知られていません。通いの場に行きたいけど、どうしたらいいか判らないという声があるので、「ガイドブック」を全戸配布するなどの検討をお願いします。

(青柳(久)委員)

堀金支部社協で「おむすび会」という催しが開催されています。人と人を結ぶ会で食事が出ますが、お年寄りには車が無く行くことができません。催しなどにどんどん行かないと活力が低下してしまうので、「乗っていかないか」と誘って一緒に参加しています。

今後も、目の前で気づいたことを、やっていきたいと思います。

(尻無浜会長)

区長より、区長会等で何かしら共有していることがあれば、お話いただければと思います。

(上條委員)

大体の区では、区長任期が1年から2年であり、一生懸命新区長に区の事を教えても、任期が来て終わってしまい、継続性が無い事が一番の問題だと思っています。

また、十数年、障がい者と高齢者の支援を行ってきましたが、行政を含め体制は出来ているけど継続性がありません。何年かごとに異動で人が代わると、振り出しに戻ってしまいます。

支援体制づくりでは、これらの継続性が重要な課題になってくると感じています。

(尻無浜会長)

次回の進捗確認に向けて、継続性に留意した取組みを確認していければと思います。

基本目標3について、サロン等への足がない人へ、デマンド交通の周知に関するご意見をいただければと思います。

市社協から、デマンド交通に関して把握していることや課題等がありましたら、お話をいただければと思います。

(市社協)

デマンド交通は、市の地域公共交通協議会の事業で、市社会福祉協議会が運行管理業務を受託しています。具体的には、受付センターと運行車両を持っています。

運行業務は、タクシー会社に担っていただいておりますが、人手不足で困っており大きな課題になっています。

デマンド交通の車両は16台ありますが、予約する人が集中するエリアと時間帯があり、増車したくても人手不足で対応できず、年々この状況が深刻化しています。

市社会福祉協議会では、来年度は予約の方法や分かりやすく使える方法のお知らせなどを工夫し、具体的な使い方としてケアマネージャーを通じて利用者へ周知し、利用者の立場での改善に取り組んでまいります。

(早川委員)

公民館の講座に出席したいが足が無くて行けないというのは、お年寄りの大きな問題になっています。このような問題に対応するため、広報紙やホームページを通じてデマンド交通の周知・広報を図るという対応方針ですが、デマンド交通を必要とする人達は、ホームページなどの広報を確認しないと思います。

公民館や区長会などの会議の際に「デマンド交通という制度があるよ」と、伝えられればと感じています。例えば、公民館長会議でデマンド交通のチラシを配布し、地区公民館の皆さんへ周知していただければ、もっと必要とする人につながっていくと思います。

(尻無浜会長)

これらのご意見を、資料に加えて今後の対応を検討いただきたい。

(上條委員)

デマンド交通については、地域公共交通協議会と連携を取りながら、対応方法を検討していただければと思います。

(事務局)

いただいたご意見について、担当の政策経営課に対し、様々なチャンネルを通じた周知の検討を依頼したいと思います。

(尻無浜会長)

市民が要望を行政に上げて行政が対応するという構造も必要ですが、市民自らが仕組みを考えて取組むことも重要になります。この取組みの中で、行政はサポートするなどの色々な動きが出て来ると良いと思います。

さて、基本目標4については、第2回推進・策定委員会で意見・指摘が無く資料として挙げておりません。

重点事業1は障がい児やひきこもりの対応に関して、重点事業2は包括的な支援体制の対応に関して、ご意見をいただければと思います。

(早川委員)

特性を持っている子どもの保護者の方々から「在学中は相談窓口があるが、卒業後に相談できる場所が無い」ということを不安に思っており相談されます。

このような家庭や子ども達が、孤立しない取組みを続けていかなければならないし、子どものころから関係を保ち継続してつながれる、切れ目のない支援を目指していただきたいと思います。

(酒井委員)

園に障がいを持っている子もいますが、保育士不足が課題になっています。

保育士不足は給料面の問題だけでなく、保育士のメンタル部分が重要で、仕事量の見直しなどを皆で考えていかなければならないと思います。

「保育士って子どもと遊んでいるだけでいいね」と思われている現状があると思いますが、実は違います。就学前の6年間が人間として一番大事な時期であり、子どもの生活面から全てを見ています。保育士の環境を整えて、色々な状況を全体で考えていく必要があると思います。

(尻無浜会長)

酒井委員の指摘は、推進項目の「サービスの充実と質の向上」を支える人材の確保に留意していくことかと思います。

突き詰めると、ありとあらゆる人材の確保に留意することにつながっていきませんが、重点事業に挙げている内容になりますので、対応していければと思います。

(岡本委員)

以前刑務所で勤務していた際に、高齢受刑者の社会復帰支援も担当していましたが、行政ではできないことを、民間やNPO法人などの協力をいただいて調整をしていました。

情報共有の場として、この推進・策定委員会の様に、行政のできることと民間などの得意分野を共有して、取りこぼしのない対応ができる仕組みづくりが必要になると思います。

(平林委員)

障がい児の支援として各分野の関係機関が連携する方針に対し、市の自立支援協議会の中に子ども部会があり、放課後等デイサービスの児童発達管理責任者や養護学校の先生も参加しておりますので、自立支援協議会も関係機関の連携に含めていただければと思います。

(事務局)

担当の障がい者支援課と打合せして、ご意見をお伝えします。

また、資料は主に庁内での取組みをまとめているので、市以外を含めた協力体制のご意見として承りました。

(尻無浜会長)

ご意見をいただきましたので、再検討して今年度の進捗の評価とさせていただきます。

(2) 市民、団体・事業者の中間アンケートについて

資料に基づき、市民、団体・事業者の中間アンケートの対象と内容について説明。

(尻無浜会長)

団体・事業者のアンケート対象が適正か、また送付するアンケートに追加する内容があるか、ご意見をお聞きしたいと思います。

(岡本委員)

市民アンケートの対象者が、無作為抽出の2,000人とのことですが、問7の「お住まいの期間」に「1年未満」を追加した方が良いと思います。

中間評価のためなので、ある程度の期間、市内に居住している人の意見を優先した方が良いと考えました。

(上條委員)

市民アンケートの問7について、「50年以上60年未満」、「60年以上70年未満」、「70年以上」と分ける必要はないと思います。「50年以上」とまとめても良いのではないかと考えます。

(事務局)

いただいたご意見について、前回数値等を参照し、事務局で修正の有無について決めさせていただきます。

(藤原委員)

市民アンケートの問10、11について、「区への加入状況についてお聞きします」とあり、区への加入は強制ではないですが、区に加入しなくて良いとの広報みたいな役割を担わないか不安です。

区に加入している人が非常に減少しており、加入する人を増やす必要があるのに、この設問により区に入らなくても良いという方向に導いてしまうのではないかと懸念があります。

(尻無浜会長)

市民アンケートの間10には、区に加入しなくてもよいと誤解させる懸念があるとのことご意見をいただきました。

団体・事業者アンケートの、対象者や設問に対するご意見をお聞きしたいと思います。

(他意見なし)

4. 報告事項

(1) 包括的支援体制の検討について

資料に基づき、包括的な支援体制の検討状況について報告。

(尻無浜会長)

市の地域福祉計画・地域福祉活動計画の重点事項2として「包括的支援体制づくり」に取り組んでいます。この内容に基づき、関係部署で集まって議論をしたとの報告でした。

この件に対するご意見をお聞きしたいと思います。

(宮澤委員)

松本市で重層的支援体制整備事業を実施しているが、どこがイニシアティブを取るのか決まっておらず、仕組みが作れていないと聞きましたが、進捗状況等を把握していたら今後の事も含めて教えていただきたい。

(事務局)

松本市の体制について、ご指摘の課題があると聞いています。

県内で先行している自治体の状況を聞いて、検討していきたいと思います。

(山崎(博)委員)

県社協では、県から重層的支援体制整備事業の後方支援事業を受託しています。

実施している自治体の情報を把握していますし、これから立ち上げる際の具体的な相談に乗っていますので、タイミングをみてお声掛けいただければと思います。

例えば、塩尻市では地域共生推進課と名称を変え、1階にフロアを構えて横断的な対応に取り組んでいます。先行自治体は色々ありますが、課名を変えて本気で取り組んでいると感じています。

(尻無浜会長)

このような整備が進むことで、縦割りや対象別だったものが複合的なニーズに対応することにつながっていくことができると思います。引き続き令和8年度も、この様な取り組みの観点からご指摘をいただきたいという意味で、包括的な支援体制の検討について報告をいただきました。

5. その他

(尻無浜会長)

その他、全体を通してご意見をお聞きしたいと思います。

(山崎(博)委員)

高齢・障がい・児童は、それぞれ縦割りの計画があり専門的な分野での検討がある中で、地域福祉計画・地域福祉活動計画はそれらを横断する視点として、包括的な支援体制や市民への周知や参画ということになると思います。

次期計画に向けたアンケートではなく、その手前の中間アンケートに労力をかけていますので、計画の進捗に本腰を入れていると感じ、この部分を含めて期待をしています。

(尻無浜会長)

本日予定されている協議事項・報告事項については、以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

(事務局)

本日は慎重なご審議、また貴重なご意見ありがとうございました。

本日いただいたご意見を、内部精査いたしまして実施すべきアンケートの内容等に反映したいと思います。

今年度は、委嘱から3回と回数が増えるなか、委員の皆様にはご協力いただき感謝申し上げます。任期は2年となっておりますので、後1年ご協力をお願いいたします。

それでは、第3回推進・策定委員会を閉会いたします。

8 閉 会